

ゼロカーボン チャレンジ
2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて

新発田市 地球温暖化対策 実行計画

(区域施策編・事務事業編)

2023年度 (令和5) ▶ 2030年度 (令和12)



新発田市



ゼロカーボンシティしばたのロゴマーク

- SHIBATAの「S」とゼロカーボンの「ゼロ」を連想させるような図柄
- 新潟の地域資源を最大限活用するため、山や田園の「緑」、川や海の「青」、太陽の「橙」を組み合わせる表現

市民・事業者・本市がこれまで以上に連携・協力してゼロカーボンシティの実現に向けてチャレンジするという想いを込めています。



写真提供：新潟県新潟地域振興局

はじめに

新発田市（以下「本市」という。）は、越後平野の北部に位置し、飯豊連峰の山々から日本海沿岸部まで広がる豊かな自然景観に恵まれています。また、かつて東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な大地と城下町や各地域に伝わる歴史や文化などの貴重な地域の宝が融合した都市です。こうした自然環境は、大切な地域資源として将来にわたり残すべき財産として、私たちが守り引き継ぐ使命があります。

近年、地球温暖化の影響とみられる記録的な猛暑や大型化した台風、線状降水帯の発生など、異常気象による災害の危険度が急激に高まり各地で多くの被害をもたらしています。本市でも例外ではなく、自然災害は市民の生活環境を大きく変え、様々な問題を引き起こします。また、食の循環によるまちづくりを推進している本市にとって、農業などの基幹産業にも大きな影響を及ぼす可能性がある異常気象は大きな脅威となります。

このような状況を踏まえ、日本では、2020（令和2）年10月に2050（令和32）年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を宣言し、2021（令和3）年10月には「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、「2030（令和12）年度において、温室効果ガスを2013（平成25）年度比で46%削減する目標を掲げ、さらに50%の削減を目指して取り組んでいく」と掲げました。

本市でも、国の目標と歩調を合わせ、2021（令和3）年6月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けて、2023（令和5）年3月、2050（令和32）年を見据えた将来ビジョンと脱炭素シナリオ、再生可能エネルギーの導入目標などを定めた、「新発田市地域再生可能エネルギー導入戦略」（以下「導入戦略」という。）の策定をはじめ、地球温暖化対策の実効性をさらに高めるため、「新発田市地球温暖化対策実行計画（以下「本計画」という。）」を策定し、市民・事業者・本市がこれまで以上に連携・協働して、快適で豊かな生活と脱炭素が調和した取組を推進し、地域の持続的発展と経済の活性化を目指します。

また、2050（令和32）年の目標達成を実現する中間点として、本計画では中間目標として2030（令和12）年までに温室効果ガス排出量を2013（平成25）年比で46%削減することとしています。

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条で定める「地方公共団体実行計画（区域施策編）」として策定するものであり、市域全体の温室効果ガス排出量削減を目的とした「区域施策編」に合わせて、本市の事務事業における温室効果ガス排出量削減に取り組むこれまでの事務事業編「新発田市環境保全率先実行計画～エコシフト21」（以下「エコシフト21」という。）を統合しました。また、気候変動適応法第12条に基づく地球温暖化の影響による気候変動の将来予測を踏まえ、今後想定されるいかなる自然災害に対しても、被害を回避・最小化し、被害から迅速に復旧できる適応策を盛り込んだ計画としています。

目次

第1章 計画策定の背景・意義

1-1 地球温暖化と気候変動の動向.....	1
1-2 計画の基本的事項.....	18
1-3 対象とする温室効果ガスの種類.....	21
1-4 各主体の役割.....	22

第2章 地球温暖化対策に関する現状と課題

2-1 新発田市の地域特性.....	23
2-2 地球温暖化に関する現状.....	36
2-3 気候変動に関する影響.....	45
2-4 地球温暖化に関する課題.....	54

第3章 地球温暖化対策の目標

3-1 本市が目指す将来像.....	56
3-2 将来像の実現に向けた基本目標.....	58
3-3 温室効果ガス排出量の将来推計・削減目標.....	60
3-4 再生可能エネルギー導入目標.....	65
3-5 温室効果ガス削減目標のまとめ.....	68

第4章 市域で取り組む地球温暖化対策（区域施策編）

4-1 取組の体系.....	69
4-2 目標の実現に向けたロードマップ.....	98

第5章 市が取り組む地球温暖化対策（事務事業編 エコシフト21）

5-1 本市の状況.....	103
5-2 国の状況.....	104
5-3 本市の計画策定・取組状況.....	104
5-4 基本的事項.....	104
5-5 温室効果ガス排出量の現状.....	107
5-6 温室効果ガス削減目標.....	111
5-7 具体的な取組.....	112
5-8 推進・点検体制.....	117

第6章 計画の推進と進行管理

6-1 計画の推進体制.....	118
6-2 計画の進行管理.....	119

資料編

1 本計画の策定経過.....	120
2 温室効果ガス排出量・エネルギー消費量等の推計方法.....	124
3 再生可能エネルギー導入可能性調査結果.....	129
4 市民・事業者アンケート調査結果.....	136
5 用語解説.....	147

コラム

持続可能な開発目標（SDGs）との関わり.....	9
カーボンニュートラル.....	11
地域循環共生圏.....	12
G X（グリーントランスフォーメーション）.....	14
緩和策と適応策.....	17
森林の多面的機能と森林整備の重要性.....	37
各分野における気候変動と適応策.....	53
世界各国の温室効果ガス削減目標と基準年度、CO ₂ 排出量.....	61
再生可能エネルギー導入ポテンシャル.....	65
F I T 制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）.....	67
P P A モデル.....	72
ZEB・ZEH 化とは.....	72
太陽光発電設備導入への課題.....	73
デコ活.....	77
ゼロカーボンアクション 30.....	79
L E D 照明の省エネルギー性能.....	79
宅配ボックスの設置や置き配の活用.....	80
にいがたゼロチャレ 30.....	80
次世代自動車.....	84
災害時の EV による非常用電源としての活用事例（V2H）.....	85
吸収源.....	86
日本の食品ロス量.....	90
プラスチック資源循環戦略.....	90
ヒートアイランド現象.....	96
2100 年の天気予報.....	97